

科目名称:ソーシャルワーク論Ⅲ					
担当者名:柴田 紀子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年前期	講義	選択	2	社会福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		14214003
<p>授業概要:ソーシャルワーク論Ⅲ・Ⅳを通して、ソーシャルワーカーとして多様化・複雑化する課題に対応するために、実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法について講義を行う。</p> <p>ソーシャルワーク論Ⅲでは、①人と環境の交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、②ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ、③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について学ぶ。</p>					
<p>到達目標:①人と環境の交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解できる。</p> <p>②ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて理解できる。</p> <p>③ソーシャルワークの過程について理解できる。</p> <p>④ソーシャルワークの記録について理解できる。</p>					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 オリエンテーション			ソーシャルワーク論Ⅲのシラバスを読み、教科書に目を通して、授業の概要を把握する(30)		
第2回 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク(1)システム理論、生態学理論			教科書 p.1-15 を読んでおくこと(60)		
第3回 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク(2)パイオ・サイコ・ソーシャルモデル			教科書 p.16-27 を読んでおくこと(60)		
第4回 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク(3) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク			教科書 p.28-40 を読んでおくこと(60)		
第5回 ソーシャルワークの過程(1) ケースの発見とインテーク			教科書 p.41-56 の該当箇所を読んでおくこと(60)		
第6回 ソーシャルワークの過程(2) アセスメント、プランニング			教科書 p.58-92 を読んでおくこと(60)		
第7回 ソーシャルワークの過程(3) 支援の実施、モニタリング			教科書 p.93-104 を読んでおくこと(60)		
第8回 ソーシャルワークの過程(4) 支援の終結と事後評価、アフターケア			教科書 p.105-118 を読んでおくこと(60)		
第9回 ソーシャルワークの展開過程 ケースの発見・インテークから終結・事後評価、アフターケアまでを振り返り総括			第5回から8回の授業の内容を教科書、資料、ノートを用いて見直しておくこと(60)		
第10回 ソーシャルワークの実践モデル			教科書 p.119-128 を読んでおくこと(60)		
第11回 ソーシャルワークの実践アプローチ(1)心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ			教科書 p.128-137 を読んでおくこと(60)		
第12回 ソーシャルワークの実践アプローチ(2)課題中心アプローチ、行動変容アプローチ、認知アプローチ			教科書 p.138-150 を読んでおくこと(60)		
第13回 ソーシャルワークの実践アプローチ(3)危機介入アプローチ、エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ			教科書 p.150-165 を読んでおくこと(60)		
第14回 ソーシャルワークの実践アプローチ(4)解決志向アプローチ、さまざまなアプローチ			教科書 p.150-165 を読んでおくこと(60)		
第15回 まとめ			第1回から14回の授業の内容を教科書、資料、ノートを用いて見直しておくこと(120)		
履修に必要な予備知識や技能:ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱで学習した内容を理解しておくこと。新聞・テレビ等の報道や文献を用いて、社会福祉制度の現状や現代社会の生活課題等について理解しておくこと。					
課題に対してのフィードバック:授業内でふりかえりシートを課し、その記載内容について、次の授業でフィードバックする。					
評価方法・基準:授業におけるふりかえりシート20%、定期試験80%					
教科書:『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』 中央法規出版					
備考:					
実務経験の内容・期間:なし					